

ひかりっ子 卒えんプログラム

場面別計画

保育の5領域は生活の全体を通じて様々な体験を積み重ねる中で相互に関連し合いながら次第に達成されていきます。

幼稚園や保育所での生活全体を「球」に例えると、保育者はそれを「5色の紙風船」と見ます。生活全体のどの場面でどんな力を付けるかということ、領域という窓を通して整理して考えるということです。しかし幼児にとっては、それは「5色のしゃぼん玉」です。個々の領域のねらいを達成しようとするのではなく、生活全体という球を5領域が関連し合った活動が取り巻き、瞬時に変化し続けながら、球全体を豊かに輝かせるということです。

「場面別計画」では、幼児教育でこそ育みたい力を、5領域の窓から整理しました。

「ひかりっ子 卒えんプログラム」を作成することは、育てたい幼児の姿を明らかにすることであり、幼児教育でこそ育みたい力を再認識すると共に、つながりの中にある小学校との接続を視野に入れて保育・教育を実践することです。したがってこれは、「小学校入学前にこんなことができるようにしておきましょう」というものではなく、幼児教育として行われている活動を整理したものです。このプログラムにより、保育者は見通しをもった取組をすることができます。また子どもたちは、小学校生活に適応しやすくなると同時に、小学校の先生方にとっても「入学してきた子どもたちはこんなことができるようになっている」と、子どもたちの育ちを受け入れる手掛かりとすることができます。

幼稚園・保育所での幼児教育において
子どもの育ちをとらえる視点「領域」

- ・心身の健康に関する領域「健康」
- ・人とのかかわりに関する領域「人間関係」
- ・身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」
- ・言葉の獲得に関する領域「言葉」
- ・感性と表現に関する領域「表現」

ひかりっ子 卒えんプログラム 場面別

生活で育む力		遊びで育む力			活動で育む力		つながる力=自立
朝の会	給食	ルールある遊び 「ドッチボール」	外遊び「遊具、用具 を使った遊び」	ごっこ遊び 「お店屋さんごっこ」	自然にふれる活動	絵本にふれる活動	(学びの自立)
<ul style="list-style-type: none"> ・一日の流れを知り、見通しをもって安心して行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、片づけをすすんで行う。 ・食事のマナーを守って決められた時間内で食べる。(40分程度) ・残さず何でも食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのびと体を動かして遊ぶ。 ・友達と相談したり協力したり、決まりを守ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・跳ぶ、登る、走る、投げるなどの運動遊びをする。 (縄跳び、ボール、フープ、のぼり棒、うんてい、三輪車など) ・安全に気を付けて遊具や用具を使って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物を作ることで喜びや達成感を味わい、さらに活発に遊ぶ。 ・教師(保育士)に相談して安心したり、ほめられたりして安定感をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うがい、手洗い、衣服の調節など自分で行う。 ・寒さに負けず戸外でしっかり体を動かして遊ぶ。 ・長い距離の散歩を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師(保育士)に読んでもらいながら、心の安定を図り安心して生活をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然現象、動植物に関心を持つ。 ・いろいろな用具・素材に触れ、それを使って自由に工夫して作ることを楽しむ。 ・数量、図形、マーク、文字に関心を持ち使う。 ・体を動かす心地よさを知って進んで戸外で遊ぶ。 ・友達とルールのある遊びを楽しむ。 ・人の話を最後までしっかり聞いたり自分の思いを言葉で伝えたりする。
<ul style="list-style-type: none"> ・友達の思ったことや教師(保育士)の話の聞き、いろいろな思いや考えのあることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番の役割を知り友達と協力して行う。 ・友達や教師(保育士)と一緒に楽しく食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守る大切さを知ったり、自分たちで作り上げていく楽しさを味わったりしながら友達と仲良く遊ぶ。 ・道具を自分たちで準備したり片付けたりして大切ににする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同の遊具や道具を大切に、皆で譲り合って使ったり片付けたりする。 ・教師(保育士)や友達などとの安定した関係の中で、一緒に活動する楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・友達と共通の目的をもち協力して物を作ったり売ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然現象など、友達と一緒に見つけたり触れたり試したり遊びに取り入れれたりして、ともに喜びを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたり考えたりしたことを伝え合い、友達にも思いがあることに気づく。 ・教師(保育士)に絵本や童話を読んでもらったり友達と一緒に絵本を見たり読んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 〈生活の自立〉 ・自分のことは自分でする。 ・進んで挨拶や返事をする。 ・生活に必要な言葉を使う。 ・清潔にする習慣を身に付ける。 ・食事に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・遊具、用具など大切に扱ったものは片付ける。 ・決まりの大切さに気付く。
<ul style="list-style-type: none"> ・月日、曜日、数量などに関心をもったり順列に気づいたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事の食べ物に関心を持つ。 ・配膳、食事などを通して数を数えたりする。(数、量、時刻) 	<ul style="list-style-type: none"> ・当たった人や残った人の数を数えて勝敗が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縄跳びの跳ぶ回数を数えるなどして数に関心を持つ。 ・いろいろな遊具や用具など身近のものに親しみ大切に使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具などの使い方がわかり用途に応じて選んで使う。(ハサミ、テープ、ガムテープ、画用紙、廃材、紐など) ・数量や図形に興味を持って作ったり売ったりする。 ・簡単なマークや文字に興味を持ち遊びの中で使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象に関心を持ち、それを取り入れて遊んだり、動植物の様子、日差しの変化などから季節の移り変わりに気付いたりする。 ・不思議に感じたことを図鑑や科学絵本で調べ知ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な絵本にふれる。 ・絵本を通し文字や数などに関心をもち遊びに取り入れようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 〈精神の自立〉 ・苦手なことにも挑戦して教師(保育士)や友達とできるようになったことを認め合って喜びを味わい自信につなげる。 ・自分の思いを話したり友達の思いに気付いたりして一緒に活動する楽しさや喜びを味わう。 ・クラスの一員として自覚をもち当番活動を行う。 ・共通の目的を持って遊ぶことを楽しむ。 ・友達に共感し、思いやりをもって生活する。 ・豊かな感性・情操を持ち、自分なりの表現ができる。 ・自分の良さに気付く自信をもって生活する。
<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動を通して人前で話をしたり聞いたことを伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な言葉を知り、使う。(いただきます、ごちそうさまでした、おかわりください、〇〇食べられませんなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや遊び方などを言葉にして自分の思いを表現する。 ・遊びに必要な言葉がわかり、それを使って遊ぶ。(貸して、いいよ、交代など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを言葉で伝えたり、相手の話を最後まで聞いたりして友達と仲良く遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要なことを言ったり、わからないことを尋ねたりする。 ・売買の言葉のやりとりを楽しむ。 ・友達の言葉を注意して聞き、わかるように話す。 ・文字などで伝える楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不思議に思ったこと、発見したこと、調べたことを言葉で伝える。 ・友達の話に耳を傾け、共感したり意見を言い合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返す言葉のリズムの楽しさや音の響きの面白さに気づき使ったり遊ぶ。 ・絵本や物語をみたり聞いたり想像する楽しさを味わい言葉で話そうとする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・友達と声を合わせて歌う楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・香り、彩り、歯ごたえに気付いたり、味わったり感じたりして食事を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの勝敗についてうれしい気持ち、悔しい気持ちを様々な方法で伝えたり、友達の気持ちに共感したりする。 ・苦手な活動もやってみようと挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな遊具や用具を使って遊ぶ中で、工夫したこと、感動したことなどを伝え合う楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要な材料や用具を考え工夫して作ったり飾ったりする。 ・楽しかったことを伝え合う喜びを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な形、色、手触り動きなどに気付き感動したことなどを描いたり作ったりして工夫して表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や童話、視聴覚教材などを喜んで見たり使ったりして、いろいろな表現を楽しむ。 	

実践の時期 (10月 ~ 3月)

「朝の会」

(保育・教育のねらい)

- ・ クラスの一員であることを感じ、友達と一緒に楽しく生活する。
- ・ 一日の流れを知り、遊びや活動に期待をもって取り組もうとする。

〈健康〉

- 一日の流れを知り活動の見通しをもって生活し、自ら活動に取り組もうとする。(今日は○○するんだね) 等
- 爪の長さ、ハンカチ・鼻紙等の持ち物を継続して確認することで身体を清潔にしようとする気持ちもてる。

〈表現〉

- 友達と一緒に季節の歌等を声を合わせて歌うことを楽しむことができる。
- 友達と一緒に手遊び・リズム遊び・伝承遊びを楽しむことができる。

〈人間関係〉

- 出席調べをして自分も友達もクラスの一員であることを感じる。
- 遊んでいる姿から友達の良さに気付き認め合い一緒にやってみようという気持ちをもつようになる。
- *一人一人が大切な仲間であることを話し合いクラス意識が高まっていくようにする。

〈環境〉

- 日にちの確認やお天気調べを通して、「あと何日で遠足かな」「もうすぐ氷ができるね」等、数や自然事象に興味をもち始める。
- *数、自然事象など興味をもった時、機会を見逃さないようにしていく。

〈言葉〉

- 朝の挨拶や呼ばれ時に元気な返事をするようになる。
- 人前で自分の経験した事や思ったことを話すことが少しずつできるようになる。
- なぞなぞ、しりとりなどの言葉遊びに興味をもち始める。
- *掲示の工夫をして、遊びや生活の中で言葉や数に親しんでいけるようにする。

3つの自立

- (学び) ・人の話を聞いたり、自分の意見を話したりすることができるようになった。今後、自信をもって話すことができるようにしていく。
- (生活) ・身の回りの始末を自分で行うことができる。
- (精神的) ・クラスの一員としての思いをもち、友達と一緒に楽しく活動することができる。友達の良い所を認め合いながら一層仲間意識が高まるようになっていく。

実践の時期 (10月～3月)

「給食」

〈健康〉

- 楽しく食事をすることができる。
 - 準備・片付けを自分たちで進めたり、できていないことをお互い声をかけ合ったりしてできる。
 - 食事マナーを守って時間内に清潔に食べようとする。
 - 三角食でバランスよく食べ、健康と食事の関係に関心を持ち、好き嫌いを残さず食べようとするようになる。
- *家庭においても、健康(食育)に関心がもてるようにする。

(保育・教育のねらい)

- ・食生活に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。
- ・自分の体に関心をもち何でも食べようとする。
- ・様々な人々と一緒に食べる楽しさを味わう。

〈表現〉

- 様々な食べ物に出会い、味、香り、彩り、形、食感を味わったり、気付いたり、感じたりできる。また、本や図鑑で学んだり、話を聞いたりして、食べ物には、それぞれの特徴や種類があることを知ることができる。

〈人間関係〉

- 決まったグループで食べたり、好きな友達と食べたりして、様々な人と一緒に楽しく食べることができる。
- 当番の役割をみんなで考えたり、当番活動を協力して行ったりできる。

〈環境〉

- 様々な季節や行事の食べ物に関心を持ち始める。
- 自分たちで野菜栽培をしたり、調理を体験したりすることで、自然の恵みや作ってくださった方への感謝の気持ちが芽生え始める。
- 食事の時間を考えたり、食べ物の数を数えたり、量を比べたりすることができる。(個数、多少、時刻)

〈言葉〉

- 好き嫌いがある時は、保育士に多い少ないの量や食べられない物があるなど自分の気持ちを伝えることができる。
- 当番活動をする中で、挨拶をしたり、生活に必要な言葉を知って使ったりすることができる。
(いただきます・ごちそうさまでした・おかわり下さい・〇〇食べられません、など)

3つの自立

- (学び) ・健康と食物の関係(栄養バランス)について関心をもつことができる。今後、食育に関する手紙配布や、栄養士さんによる講話などを取り入れ家庭でも食育に関心が深まるようにしていく。
- (生活) ・食事に必要な習慣や態度を身に付け、楽しんで食事ができる。
- (精神的) ・苦手なものがあってもがんばろうという気持ちをもつことができるようになる。

実践の時期 (10月～11月)

ルールのある遊び
「ドッジボール」

〈健康〉

- 十分に体を動かして遊ぶことができる。
- 「どう動いたらボールに当たらないか」「ボールの投げ方」等、考えて動くことができる。
- ボールの動きに合わせて、体を機敏に動かすことができる。
- ボールの扱いに慣れる。

(保育・教育のねらい)

- ・体を十分に動かし、意欲的に遊びや活動に参加する。
- ・友達と思いを出し合い、共通の目的に向かって取り組む充実感を味わう。

〈表現〉

- ゲームの勝敗について嬉しい気持ち、悔しい気持ちを様々な方法で伝えたり、友達の気持ちに共感したりできる。

〈人間関係〉

- ルールを守って遊ぶ大切さを知ったり、教師と一緒にルールを作ったりすることで楽しく遊ぶことができる。
- 友達の頑張っている姿や、良さに気付くことができる。
- 他のクラスや異年齢の子どもとも触れ合って遊ぶことができる。
- ※自分たちでルールを作って遊びを進めていくことができるようにする。

〈環境〉

- 当たった人数を数える・残った人数を比較するなどして勝敗が分かったり、数を数える便利さを知ったりする。
- 遊びに必要な物を使って遊ぶ楽しさを味わうことができる。(点数表、星とり表)
- ※遊びに使った物を大切に扱うことができるようにする。

〈言葉〉

- ルールや遊び方などを言葉で伝えることで、自分の思いを表現できる。
- 遊びに必要な言葉が分かり使って遊ぶことができる。(貸して、いいよ、交替など)

3つの自立

- ・(学び) 運動遊びを通し、体を思い切り動かす気持ち良さを感じたり、遊びのルールや数量に関心をもって遊ぶことができる。
- ・(生活) 遊具、用具など使った物を自分たちで準備したり片付けたりすることができる。※遊具、用具などを大切に扱うことができる。
- ・(精神的) 自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりして、折り合いを付けたり、賛同したりして楽しく遊ぶことができる。

実践の時期 (1月～3月)

遊具・用具を使った遊び

「縄跳び」

(保育・教育のねらい)

- ・ 進んで戸外で縄遊びを楽しむ。
- ・ 何回も挑戦し跳べた喜びを味わう。

〈健康〉

- 個人差はあるが前跳びができるようになる。
- いろいろな跳び方に挑戦する子も出始める。
- 縄の正しい使い方を知り守って遊ぶことができる。
(遊具に結ばない、振り回さない、など)

*個人差はあるが一つのものに取り組む意欲がもてるようにする。

*環境が設定してあると関わるが、設定しなくても自ら活動しようとする気持ちは持てるようにする。

〈表現〉

- 保育士や友達と一緒に、歌や数に合わせて跳ぶ楽しさを味わうことができる。
- 自分の跳び方を見せ合っ
て楽しむことができる。

〈人間関係〉

- 短縄・大縄を大切に扱い、皆で譲り合って使ったり、自分たちで片付けたりすることができる。
- 何回跳ぶかなど、自分たちで目標を決め、やり遂げようとしていたり、友達と励まし合ったりすることができる。

〈環境〉

- 縄跳びの跳ぶ回数を数えるなどして、数に関心をもつことができる。
- 大縄跳びでは、縄を回す役になったり、跳ぶ順番を理解したりすることができる。

〈言葉〉

- 遊びに必要な言葉(「入れて」「いいよ」「代わって」など)を知り、使うことができる。
- 大縄跳びの歌「大波小波」「お嬢さんお入んなさい」、伝承的な数え歌「ゆうびんやさん」など、数や言葉の面白さ、美しさに気づき、楽しむことができる。

3つの自立

- (学び) ・ 体を動かす心地よさを知り進んで戸外遊びができる。
- (生活) ・ 身近な物を大切に扱い、約束を守って遊ぶことができる。
- (精神的) ・ 保育士や友達と出来るようになったことを認め合い、喜びや自信をもつことができる反面、できないとあきらめてしまうことがあるので意欲を持続できるようにしていく。

ひかりっ子 卒えんプログラム

遊びで育む力

ごっこ遊び
「お店屋さんごっこ」

実践の時期 (11月)

〈健康〉
*物を作ることで喜びや達成感を味わい、さらに活発に遊ぶことができるようにする。

(保育・教育のねらい)
・友達と協力して、共通の願いをもって、取り組もうとする。
・いろいろな材料、用具を選んで、試したり、工夫したりしようとする。

〈表現〉
○いろいろな用具や材料を使って、試しながら遊ぶことができる。
(はさみ・ホチキス・ガムテープ・セロテープ・のり・ボンド等の用具、廃材・色紙・画用紙・段ボール・セロハン等の材料)
*材料に合った用具を選んで工夫して作るができるようにする。

〈人間関係〉
○友達と協力してお店屋さんで売る物を作ることができる。
○みんなで使う物や場所のルールを守って行動することができる。

〈環境〉
○数字に関心をもって、お金作りをし、遊びの中に取り入れて遊ぶことができる。
*遊びの中に簡単な標識や文字を取り入れながら関心が高まっていくようにする。

〈言葉〉
○「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」など自分で考えた言葉を使って、言葉のやり取りを楽しむことができる。

3つの自立
(学び) ・自分の作りたい物を決め、楽しんで取り組むことができる。更に、試したり工夫したり、又、友達と相談したり協力して作り上げていく楽しさを味わわせていく。
(生活) ・多くの友達と安全に気を付けて行動したり、親しみをもって行動したりすることができる。
(精神的) ・友達と意見が合わないときも、相談したり譲り合ったりして、ともに行動することの喜びを味わうことができる。

実践の時期 (1月～2月)

自然にふれる活動

「氷作り」

〈健康〉

- * 氷を触った後の手拭きなど、進んでしっかりできるようにする。
- * 繰り返し試したり、工夫したりして継続して行い、達成感が味わえるようにする。

(保育・教育のねらい)

- ・ 冬の自然事象に関心をもち、見たり触れたり調べたりする。
- ・ やってみようと意欲的に取り組み、不思議だな、なぜだろうと疑問を感じる。

〈表現〉

- 氷の美しさに気づき、色水を凍らせたり、水の中に花や色紙などを入れて、どのようなイメージを膨らませたりすることができる。
- * 氷の色、(割れる)音、形、手触りなどに気付いたり、感じたりして、感性が豊かになるようにする。

〈人間関係〉

- 友達と共に氷ができた喜びを感じ合い、自分のものと比べたり、皆で見合ったりして再度氷作りを試みようとする。

〈環境〉

- 好きなカップに水を入れ、陰に置いたり、高い所に置いたりするなど、日頃の生活体験から思い思いの所に置き、翌日見るなど関心をもつようになる。
- どうしたら氷ができるのだろうと、図鑑や科学絵本で調べ、知ろうとする。

〈言葉〉

- 「氷できたよ」「だめだったよ」等と感動、状態を自分なりの言葉で伝えることができる。
- 自分のものと友達のを比べ「こうしたらいいよ」等と自分の思いを言ったり、友達の話の話を聞いたりすることができる。

3つの自立

- (学び) ・ 身近な自然事象に関心をもち、意欲的に取り組むことができるようになったが、機会を逃してしまうこともある。保育士自身が感性豊かになり、子どものつぶやき、言動を把握し、適切な環境、援助をしていく。
- (生活) ・ 身近なものを大切に扱い、約束を守って遊ぶことができる。遊んだ後の手洗い、手拭など清潔にする習慣を付けるようにしていく。
- (精神的) ・ 共通の目的に向かって友達と一緒に試したり工夫したりする楽しさを知ることができる。

ひかりっ子 卒えんプログラム

実践の時期 (11月 ~ 3月)

○成果

*課題

活動で育む力

絵本に触れる活動

「毎日の読み聞かせ」

〈健康〉

- 絵本、紙芝居、童話を保育者に読んでもらうことにより心地よさを味わう。

(保育・教育のねらい)

- ・絵本や物語などに親しみ保育者や友達と心を通わせる。

〈表現〉

- 自然事象、社会事象など絵本を通してイメージを豊かにすることができる。

*絵本を読んでもらい、感じたこと、考えたことが様々な方法で表現できるようにする。

〈人間関係〉

- 友達と一緒に絵本や物語などを見ることを楽しむことができる。

〈環境〉

- 絵本などを大切に扱って読むことができる。

*本の紹介の掲示を見て、いろいろな絵本に関心をもてるようにする。

〈言葉〉

- 簡単な絵本を自分で読んで楽しむことができる。
- 絵本や物語などを見たり聞いたりし、想像する楽しさを味わうことができる。
- 長編の話の内容を理解しイメージを膨らませながら聞くことができる。

3つの自立

- (学び) ・絵本や紙芝居や童話を聞く楽しさを味わうことができた。今後、コーナーなどの充実を図り自分で選んで読んだりして親しめるようにしていく。
- (生活) ・絵本など読んだ後は元の位置に片付け大切に扱うことができる。
- (精神的) ・安心できる環境で落ち着いて絵本を見たり聞いたりすることができる。